

境界を越えて繋がり、広がる頭頸部外科の魅力



神戸大学の上原奈津美です。私は、耳科学や難聴、遺伝性疾患を主に専門にしています。「頭頸部外科学会は、がん専門医を目指す人だけの場所」——もしそう思われているなら、それは非常にもったいないことです。本学会の最大の魅力は、がん治療に留まらず、耳、鼻、咽喉頭のすべての領域における手術手技の最新知見や、機能保存・再建のトピックスを網羅的に吸収できる点にあります。

私自身、2026年の頭頸部外科学会では同世代の他施設でさまざまな領域で活躍する先生方と登壇する機会を得ました。日頃関わることができない先生方、分野、施設の考え方や当たり前を知ることは自分を俯瞰で見直すうえでも貴重な機会となりました！

特に、執刀機会が増え始めた専攻医や専門医取りたての先生方にとって、領域の垣根を超えた最前線の技術や、他分野で活躍する同世代の志に触れる刺激は何物にも代えがたいはずです。自分の専門を深めるため、あえて隣接領域の知見を広げる。そんな贅沢な学びと交流が叶うのが、本学会の醍醐味だと感じています。

神戸大学耳鼻咽喉科頭頸部外科 上原奈津美